

令和5年度 八千代市認知症初期集中支援チーム検討委員会会議 次第

日 時 令和6年2月19日（月）

18：30～20：00

場 所 市役所旧館2階 第1・2会議室

1. 委員紹介

2. 議題

- (1) 八千代市の認知症施策と取組について
- (2) 令和5年度 認知症初期集中支援チームが関わった事例について
- (3) その他

八千代市認知症初期集中支援チーム検討委員会 委員名簿

任期 R5.2.1-R8.1.31  
(敬省略)

	所属団体名等	氏名
1	一般社団法人八千代市医師会	中村 明澄
2	一般社団法人八千代市医師会	三浦 伸義
3	一般社団法人八千代市歯科医師会	稲山 雅治 (R5. 10. 2～)※
4	一般社団法人八千代市薬剤師会	小川 敦
5	八千代病院認知症疾患医療センター	池城 緩厘弥
6	八千代市訪問看護師会	岩崎 千昇
7	八千代市介護サービス事業者協議会	柴田 茜
8	八千代市介護サービス事業者協議会	吉田 裕貴
9	やちよケアマネ・ネットワーク	水戸部 亜紀子
10	勝田台地域包括支援センター	松田 淳子
11	高津・緑が丘地域包括支援センター	関根 太郎

※八千代市歯科医師会(R5.2.1～R5.10.1) 中澤正博

# 八千代市の認知症施策・取組について(令和5年度・令和6年度)

資料1

【目指す姿】認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることができる

【課題】

- ・認知症の方(本人)の方の意見を聴けていない・認知症の家族の意見を聴けていない。
- ・認知症基本法についての理解を深めるための勉強会未開催
- ・認知症サポーター養成講座の受講経験が約3～6%(介護保険コース調査より)であり、地域の方の理解力も低い可能性が高い。
- ・認知症カフェやチームレゾ等居場所が少ない・チームレゾ等の活動の方向性が明確でない

【令和6年度の重点取組】

- ① **本人・家族の声を聴く**
- ② **認知症サポーターの対象拡大**
- ③ **居場所づくり**

【現状】認知症の方(本人)・家族の意思が反映された施策になっていない。また、認知症に関する地域の理解度も低く、認知症の方が暮らす良い環境ではない。

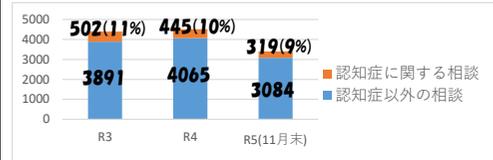
令和5年度																								
普及啓発・本人発信支援	<p>(1) 認知症に関する理解促進</p> <p><b>1) 認知症サポーター養成講座の開催</b> 計16回(496人)※R5.12月末現在 一般:10回(282人) 小学生:3回(160人) 職域:3回(54人)</p> <p><b>2) 世界アルツハイマーデー(9/21)及び月間(9月)に合わせた集中的な普及・啓発</b> ①イオンモール八千代緑が丘でのイベント 月日:9月21日(木) 場所:イオンモール八千代緑が丘2階アゼリア広場 参加者数:約180人 内容:VR体験、音楽・体操療法、相談ブース、関連書籍販売、パネル展示、クラフトコーナー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">VR体験</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パネル展示</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">体操・運動</div> </div> <p>②認知症特設展示コーナーの設置(市内図書館、市役所)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">       </div> <p>③市職員有志及び地域包括支援センター職員によるオレンジTシャツ着用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Tシャツ着用</div> <p>④広報やちよ特集号(9/15号)に記事を掲載</p> <p>(2) 相談先の周知</p> <p><b>1) 八千代市認知症安心ガイド(認知症ケアパス)の発行</b> 令和6年2月に更新し、発行・配付予定 【配布予定先】医療機関・歯科医療機関・薬局・支所・地域包括支援センター・保健センター</p> <p><b>2) 広報やちよ特集号(9/15号)に相談窓口を掲載</b></p>																							
	<p>(1) 地域包括支援センターによる介護予防教室の開催 【介護予防教室※にて認知症をテーマに開催した件数】 ※「運動」「栄養」「口腔ケア」「認知症」のカテゴリーで内容を検討し開催。(複数テーマも可)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5(11月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防教室総数</td> <td>84</td> <td>79</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>運動</td> <td>60</td> <td>67</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>栄養</td> <td>13</td> <td>23</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>口腔</td> <td>19</td> <td>8</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>41</td> <td>38</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R4	R5(11月末)	介護予防教室総数	84	79	76	運動	60	67	47	栄養	13	23	29	口腔	19	8	23	認知症	41	38
	R3	R4	R5(11月末)																					
介護予防教室総数	84	79	76																					
運動	60	67	47																					
栄養	13	23	29																					
口腔	19	8	23																					
認知症	41	38	34																					



令和6年度	
普及啓発・本人発信支援	<p>(1) 認知症に関する理解促進</p> <p><b>1) 認知症サポーター養成講座の開催</b> ①小学生向けの認知症サポーター養成講座開催について検討・打診 <b>【重点②】</b> これまでの参加者の年齢層として、60～70歳代が殆ど。幅広い世代に認知症に関する普及啓発が必要である為、小学校等へアプローチを行う。</p> <p>②認知症サポーターになった方への今後の活動について検討 <b>【重点③】</b> 認知症サポーター養成講座受講者の中に、ボランティアとして協力したいと言ってくれる方をチームレゾ等の活動に繋げる等の仕組みづくりについて検討する。</p> <p><b>2) 認知症の日(9/21)及び認知症月間(9月)に合わせた集中的な普及・啓発</b> 認知症地域支援推進員(各地域包括支援センターに配置)と検討及び協働し、引き続き認知症に関する普及啓発を行う。</p> <p>(2) 相談先の周知</p> <p><b>1) 八千代市認知症安心ガイド(認知症ケアパス)の発行</b></p> <p><b>2) 広報特集号の掲載</b></p> <p>(3) <b>本人・家族の声を積極的に聴く【重点①】</b></p> <p><b>1) 聴く場の開催の検討</b> ①本人・家族交流会の開催 「認知症の方を介護する家族交流会」から「本人・家族交流会」とし、本人の声を聴ける機会を作る。 ②他団体の情報収集 他団体が開催している家族の会のつどいや本人・家族交流会に参加させてもらい、情報収集に努める。 ③本人ミーティング等の開催に向けて検討</p> <p><b>2) 本人、家族の声が聴ける場(認知症カフェ等)に市担当者が積極的に訪問する</b></p>
予防	<p>(1) 地域包括支援センターによる介護予防教室の開催 引き続き、介護予防教室の1つのテーマとして実施する。</p>

令和5年度

(1) 総合相談での対応(地域包括支援センター)  
地域包括支援センター(市内6か所)の新規相談の件数



(2) 認知症初期集中支援チーム

1) チームに繋いだ人数

新規4件(R6.1月末)  
前年度からの引き継ぎ1件

2) 地域包括支援センターとの連携強化会議  
2回開催(R5.6.2・R5.12.1)

(3) 認知症の家族交流会の開催

【第1回】令和5年8月2日(水) 参加者数:7名 講師:グループホーム美乃里 管理者 高山氏  
【第2回】令和5年12月14日(木) 参加者数:12名 講師:薬樹薬局 薬剤師 塙氏

(4) 医療介護従事者向け研修会の開催

日時:令和5年6月8日 19時~20時30分  
会場:八千代市 市民会館及びZOOM(ハイブリット開催)  
参加者数:70名  
内容:八千代市認知症診療連携の会及びエーザイ株式会社主催で「認知症の地域生活支援」(在宅診療での事例検討)をテーマに多職種研修会を開催した。

(1) チームオレンジの立ち上げ及び支援

1) ステップアップ講座を開催

日時:令和5年11月14日(木)13:30~  
対象:認知症カフェを運営している方7名(八千代市の認知症カフェ 2か所(R5.11月末))  
チームオレンジとしてやれる活動について話し合い、チームオレンジが立ち上がった。  
《サロン愛宕MORE(八千代台)》《ユーアイおれんじカフェ(勝田台)》



(2) はいかい高齢者家族支援サービス

はいかいをする傾向のある高齢者を介護している家族に、位置情報システムを利用する費用の一部を助成している。

年度	利用実人員(人)	件数(件)
R3	11	153
R4	14	95
R5(11月末)	10	45

(3) SOSネットワーク

はいかいにより行方不明となった高齢者等を、警察署などの協力団体によるネットワークを利用することにより、早期に発見し保護している。

年度	利用実人員(人)	件数(件)
R3	21	21
R4	13	13
R5(11月末)	14	14

医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

若年性認知症のバリアフリーの支援・社会参加支援

令和6年度

(1) 総合相談での対応(地域包括支援センター) 【重点①】

地域包括支援センターの総合相談にて、引き続き相談対応を行う。  
総合相談時に本人や家族の声を聞いた際には、記録しておき、各地域包括支援センターで作成する認知症推進事業計画に反映させたり、認知症地域支援推進会議(月1回開催)にて共有する。

(2) 認知症初期集中支援チーム

令和6年度も引き続き、認知症初期集中支援チームと地域包括支援センターが円滑に連携が行えるよう、連携強化会議を行う。また、市と認知症初期集中支援チームも情報共有に努める。

(3) 認知症の家族交流会の開催 【重点①】【重点③】

・家族交流会にて、自由に話をするだけでなく、こちらが聴きたい内容も聴いていく。(地域で暮らしている中で困っていること等)  
・家族のみ参加だけではなく「本人・家族交流会」とし開催を検討。

(4) 医療介護従事者向け研修会の開催

令和6年度も引き続き、八千代市認知症診療連携の会及びエーザイ株式会社主催の研修会を開催予定。市も協力し開催する。

(1) チームオレンジの立ち上げ及び支援 【重点③】

① チームオレンジの設置について  
チームオレンジとして立ち上げ後も活動ができるようにするための仕組みづくりを検討。

② 既存のチームオレンジへの支援について  
令和5年度にチームオレンジとして立ち上がったグループに対して、認知症地域支援推進員(地域包括支援センターに配置)が支援を行っている。市も定期的に訪問し、認知症に関する情報を提供を行ったり、今後の活動内容を一緒に検討する等の支援を行う。

(2) はいかい高齢者家族支援サービス

引き続き、状況把握に努める。

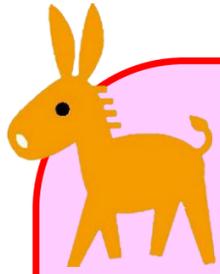
(3) SOSネットワーク

引き続き、状況把握に努める。

医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

若年性認知症のバリアフリーの支援・社会参加支援

# 住み慣れた地域で認知症になっても暮らせるように 地域でできること



## 認知症サポーター

活躍の場

認知症サポーター養成講座を受けていただき、認知症に対する正しい知識と理解を深めます。地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けや見守りをします



## 認知症カフェ (オレンジカフェ)

認知症の人やご家族、地域住民が自由に集い、認知症の症状の悪化予防、家族の介護負担の軽減等をはかっていくことを目的とした集いの場(カフェ)です

ステップアップ

活躍の場

ステップアップ



## 認知症サポーター ステップアップ講座

活躍の場

認知症サポーター養成講座を受けた方対象の講座です。認知症の人の困りごとのお手伝い見守りや声かけなどを行うボランティアができるように学びます。



## チームオレンジ

認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面の早期からのお手伝いや声かけ等を行う取り組みです。認知症の人もメンバーとして参加します。認知症サポーターステップアップ講座を受講した皆さんも参加しています。



各地域包括支援センターに  
認知症に関する取り組みや相談を行う「認知症地域支援推進員」がいます。  
ご相談をお待ちしています。よろしくお願いします。